



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月30日

上場会社名 南海辰村建設株式会社
 コード番号 1850 URL <http://www.nantatsu.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 口野 繁
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 堀 正輝
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06(6644)7805

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	27,790	14.6	1,098	32.4	1,035	35.4	821	31.7
2019年3月期第3四半期	32,559	11.2	1,624	9.2	1,603	12.3	1,202	29.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 847百万円 (27.1%) 2019年3月期第3四半期 1,162百万円 (22.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	28.48	
2019年3月期第3四半期	41.71	

当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	33,872	10,834	32.0
2019年3月期	36,840	9,986	27.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 10,834百万円 2019年3月期 9,986百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				0.00	0.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,800	2.7	2,370	9.5	2,290	11.0	1,700		58.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	28,835,730 株	2019年3月期	28,835,730 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	7,427 株	2019年3月期	7,277 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	28,828,388 株	2019年3月期3Q	28,829,009 株

当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
3. 補足情報	8
生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなど、緩やかな回復基調で推移しております。一方で、米中間での通商問題、英国のEU離脱や中東情勢の混乱等、海外経済の動向に留意が必要な状況にあります。

この間、建設業界におきましては、公共投資は堅調に推移しているものの、慢性的な建設技能労働者不足や建設資材価格の高止まりにより、決して楽観視できない経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループでは2018年度を初年度とする「3カ年経営計画」の基本方針にもとづき、「既存事業のブラッシュアップ」、「経営基盤の更なる強化」の各目標達成に向けて取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期に比べ14.6%減の277億90百万円、営業利益は前年同四半期に比べ32.4%減の10億98百万円、経常利益は前年同四半期に比べ35.4%減の10億35百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期に比べ31.7%減の8億21百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、セグメント利益は四半期連結損益計算書における営業利益と対応しております。

(建設事業)

売上高は前期繰越工事高が増加したものの、工事着工時期のずれや進捗遅れ等の影響により、前年同四半期に比べ13.9%減の275億31百万円となり、セグメント利益は売上高が減少したこと等により、前年同四半期に比べ33.6%減の10億38百万円となりました。

(不動産事業)

売上高は前年同四半期に一部販売用不動産の売却があったこと等により、前年同四半期に比べ54.4%減の2億74百万円、セグメント利益は前年同四半期に比べ5.6%減の80百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の資産合計は、現金預金、供託金及び流動資産その他に含まれる未収消費税等が増加したものの、受取手形・完成工事未収入金等及び有形固定資産が減少したこと等により、前連結会計年度に比べ29億67百万円減の338億72百万円となりました。

負債合計は、支払手形・工事未払金等及び借入金が増加したこと等により、前連結会計年度に比べ38億15百万円減の230億38百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益8億21百万円を計上したこと等により、前連結会計年度に比べ8億47百万円増の108億34百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年4月25日に公表いたしました2020年3月期の連結業績予想につきましては、変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	5,225	5,826
受取手形・完成工事未収入金等	22,781	17,407
販売用不動産	2	2
未成工事支出金	198	671
材料貯蔵品	106	99
供託金	-	2,190
その他	220	1,090
貸倒引当金	△61	△47
流動資産合計	28,473	27,240
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	2,143	1,421
土地	4,864	4,177
その他（純額）	118	81
有形固定資産合計	7,126	5,680
無形固定資産	235	223
投資その他の資産		
破産更生債権等	1,125	1,125
繰延税金資産	358	269
その他	673	484
貸倒引当金	△1,150	△1,150
投資その他の資産合計	1,005	728
固定資産合計	8,367	6,632
資産合計	36,840	33,872

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	12,999	11,480
短期借入金	6,522	4,912
未払法人税等	562	4
未成工事受入金	299	791
完成工事補償引当金	1,188	1,174
工事損失引当金	8	1
訴訟損失引当金	2,664	2,737
賞与引当金	253	101
その他	864	320
流動負債合計	25,363	21,522
固定負債		
長期借入金	983	971
退職給付に係る負債	373	401
その他	133	142
固定負債合計	1,490	1,516
負債合計	26,853	23,038
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	1,703	1,703
利益剰余金	6,232	7,053
自己株式	△3	△3
株主資本合計	9,931	10,752
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4	27
退職給付に係る調整累計額	59	53
その他の包括利益累計額合計	54	81
純資産合計	9,986	10,834
負債純資産合計	36,840	33,872

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	32,559	27,790
売上原価	29,183	25,085
売上総利益	3,376	2,705
販売費及び一般管理費	1,751	1,606
営業利益	1,624	1,098
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	6	5
受取地代家賃	8	4
固定資産売却益	14	-
その他	8	6
営業外収益合計	38	17
営業外費用		
支払利息	32	27
訴訟関連費用	9	27
その他	18	25
営業外費用合計	60	80
経常利益	1,603	1,035
特別利益		
固定資産売却益	-	74
特別利益合計	-	74
特別損失		
訴訟損失引当金繰入額	-	73
投資有価証券評価損	-	32
特別損失合計	-	105
税金等調整前四半期純利益	1,603	1,004
法人税、住民税及び事業税	286	98
法人税等調整額	114	85
法人税等合計	400	183
四半期純利益	1,202	821
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,202	821

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,202	821
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34	32
退職給付に係る調整額	△5	△5
その他の包括利益合計	△39	26
四半期包括利益	1,162	847
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,162	847
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建設事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,966	593	32,559	—	32,559
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	9	15	△15	—
計	31,972	602	32,575	△15	32,559
セグメント利益	1,565	85	1,650	△26	1,624

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用（一般管理費）であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建設事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,525	264	27,790	—	27,790
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	9	15	△15	—
計	27,531	274	27,806	△15	27,790
セグメント利益	1,038	80	1,119	△20	1,098

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用（一般管理費）であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 部門別売上高明細

区分		前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		比較増減(△)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	増減率 (%)
建設事業	建築	25,076	77.0	20,056	72.2	△5,020	△20.0
	土木	5,953	18.3	6,210	22.3	257	4.3
	電気	935	2.9	1,258	4.5	322	34.4
計		31,966	98.2	27,525	99.0	△4,440	△13.9
不動産事業		593	1.8	264	1.0	△328	△55.3
合計		32,559	100	27,790	100	△4,769	△14.6

(2) 受注状況

区分		前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		比較増減(△)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	増減率 (%)
受注工事高	建築	22,720	72.3	25,874	78.1	3,154	13.9
	土木	7,158	22.8	5,458	16.5	△1,700	△23.7
	電気	1,548	4.9	1,782	5.4	233	15.1
合計		31,427	100	33,115	100	1,687	5.4
繰越工事高	建築	24,795	81.7	36,213	80.7	11,418	46.1
	土木	4,525	14.9	7,763	17.3	3,237	71.5
	電気	1,026	3.4	872	2.0	△153	△14.9
合計		30,347	100	44,849	100	14,502	47.8

(注) 1 当社グループでは建設事業以外は受注生産を行っておりません。

2 当社グループでは生産実績を定義することが困難であるため「生産の状況」は記載しておりません。

以上